

明二級  
281  
7

東京  
其氏  
博物學  
卷之八

其氏博物學卷之八

第三網

爬蟲類

爬蟲類即「レ」<sup>レ</sup>「<sub>レ</sub>」<sup>レ</sup>「<sub>レ</sub>」<sup>レ</sup>ハ鳥類ト魚類トノ中間ナル

動物ノ一網ナリ此網ニ屬スル者ハ大概血液寒

冷習作懶惰ニシテ消化遅ク感覺鈍ク跛行游泳

ヲナス此網中ニハ蛇類、蜥蜴類、龜類、蝦蟆類、蟾蜍

類、蝶螈類、<sup>サラコントル</sup>「<sub>レ</sub>」<sup>レ</sup>「<sub>レ</sub>」<sup>レ</sup>等ヲ包有ス

博物學

卷八

一

文部省

第三十圖

爬蟲類



タルヲ以テナリ蓋哺乳動物ハ廻血ヲ心臟ニ輸送シ心臟收縮シテ又之ヲ射出シ肺臟ニ至テ酸素ト抱合スルナリ然ルニ爬蟲類ハ血ノ循環相

吾輩既ニ人體内部ノ機關ノ造構ヲ記シタルハ哺乳動物網ニ屬スル者ノ機關造構ヲ記シタルト相同シ其故ハ哺乳動物ハ皆盡ク機關ノ造構及血液循環略人ト相似

異リテ心臟ノ收縮スル爲ニ只血ノ一部分ヲ射出シテ之ヲ肺臟ニ送ルノニ其餘ノ血ハ空氣ニ觸ルニコナクシテ全體ノ各部ニ廻ル故ニ固ヨリ酸素ト抱合スルコナレト云フ是ガ爲ニ爬蟲類ノ血ハ哺乳動物ニ比スレバ酸素ノ運營甚少ク全體ニ溫度ヲ得ル爲ノ呼吸モ亦少シ故ニ其血温ハ四足獸ニ比スレバ甚冷ナリ又筋力尪弱消化遲緩ニシテ腦髓少ナク感覺鈍ニ其生活力ハ哺乳動物ノ如ク全ク腦ニ存セザル者ニ似タリ故ニ或ハ頭ヲ斷タル後尚暫ク

生活スル者アリ總テ爬蟲類ハ其卵ヲ孵スナ  
ク就中蝦蟆類ノ兒子ハ最初魚類ノ形狀ヲナス  
モノニレテ之ヲ蝌蚪ト名ク  
爬蟲類ハ呼吸ノ多寡ト機關運動ノ殊異トニ基  
キ之ヲ分テ四目トス即左ノ如レ

第一目 龜類 カメ

第二目 蜥蜴類 トカゲ

第三目 蛇類 ヘビ

第四目 蝦蟆類 カエル

第一目 龜類 カメ

龜屬 此屬ハ齒ヲ具セザルコト少量ヲ餌食ヲ以  
テ生活スルコト數月乃至數年間餌食セスレテ死  
セザルコト及頭ヲ截斷シタル後一週間ニ生活ス  
ルコト往々之アルヲ以テ區別ス總テ龜類ハ上下  
トモ堅牢ナル甲ヲ被ル者ニレテ或ハ陸ニ棲ス  
或ハ水ニ住スト云々  
尋常陸龜ハ身長八寸許草根果實小蟲類、蟲類ヲ  
餌食ス六月其卵ヲ穴中ニ生シ九月ニ至テ孵化  
シ秋ニ至レバ地中ニ潛伏シ冬寒中ハ身體麻痺  
シ春天ニ及テ地上ニ現出ス此尋常陸龜中ニハ

百二十年ノ齡ニ達レテ遂ニ頓死シタルモノアリ此種ハ頗數多アリ又淡水龜ノ種及海龜ノ種モ亦甚多レト云フ

海龜中ニテ最モ著名ナル者ヲカミガメ蠍龜トススウパ蒸汁ヲ製スル爲ニ有名ノ者ニレテ温帶ノ海中ニ棲ム其亞米利加ニ齎レ來ルモノハ多ク西印度諸島ノ砂濱ニテ捕フル者ナリイタリヤ瑇瑁ハ前者ニ類似シテ同所ニ棲息ス其甲ヲ以テ櫛ヲ造ル爲ニ有名ナリ其肉ト卵トハ太ク美味ナラザレドモ蠍龜ノ如ク著名ナルヲ以テ世人屢之ヲ食フト云フ

其他海龜ノ種類數多ノリテ其重量ハ間十斤ニ及フ者アリ

第二目

蜥蜴類

蜥蜴類ハ口ニ齒ヲ具シ趾ニ爪ヲ有シ皮ニ鱗ヲ被リテ長尾ニ多クハ四脚ヲ有スレドモ稀ニハ二脚ノ者アリ

鱒魚ワニ此驚怖スベニ爬蟲ニハ其亞屬三個アリ

即鱒魚類長喙鱒短喙鱒是ナリ

尋常鱒魚ハ古昔ヨリ世人ノ認知セル者ニシテ上部帶黒褐色下部帶黄白色ナリ身長ハ二丈乃

第一千三十一圖



鱷魚ヲ殺ス圖

ヲ以テ小舟ヲ打撃スレバ必ズ之ヲ覆シ乗舟人

至三丈許ニシテ亞非利加ノ江河ニ棲息セリ其形體蜥蜴ノ如ク頭尖ハ圓形ニシテ匾平ナリ全體中頭頂ヲ除クノ外皆鱗アル鎧様ノモノヲ被レリ尋常鱷魚ノ強暴ハ大ナル者ニシテ其損害ヲ爲スベキ主器ハ即尾ナリ一回尾

ヲ捕ヘテ食トス怖ルベキ者ニシテ陸地ニハ未ダ斯ノ如キ勢力ヲ有スル者アラズ蓋鱷魚ハ海岸或ハ河邊雜草ノ生スル處ニ埋伏シテ人及動物ノ來ルヲ待ツ若シ近ツクモノアレバ其爪牙ヲ以テ迅速ニ之ヲ捕ヘ水中ニ没入シテ容易ニ之ヲ溺殺ス又鱷魚ハ日熱ヲ以テ其卵ヲ孵化セシト欲シ之ヲ河濱ノ砂中ニ産スレバ其卵他ノ動物ニ害セラルハ多シ又其孵化シタル兒子ハ忽水中ニ入ル者ナレドモ動モスレバ亦能ク他物ノ害スル所トナルト云フ蓋鱷魚ハ聖經中

ニ載スル處ノ巨獸ト稱スル者ナラン  
ハ身長五尺許綠色ニテ黒キ斑點アリ  
ハ甚之ヲ尊敬スト云フ  
神聖鱷魚  
キールドコロコタイル  
埃及人ハ

第一千二十二圖



長喙鱷  
ガダハアル

長喙鱷即恒河鱷魚  
ガダハアル  
往々身長三丈ニ及ブ者アレド  
モ大概ハ一丈ニ尺乃至一丈八  
尺許ナリ印度及恒河ノ岸ニ棲  
ミテ河中ニ浴スル處ノ土人ニ  
向テ大害ヲ爲スト云フ錫蘭ニ  
テハ此怪物ヲ獵獲スルヲ以テ

最大ノ遊娛トセリ

短喙鱷  
アルリガートル

此動物ハ南亞米利加土人ノ「カイメシ」  
ト名クル者ニシテ身長一丈乃至二丈許大群ヲ

第一千十三圖



短喙鱷  
アルリガートル

成シテ亞米利加温帶地方ニ  
棲息ス「ミストル」オ「ジュー」ボ  
ン氏ハ此動物ノ數多群集シ  
タルヲ見シト云フ其說ニ曰  
ク我嘗テ米西悉比河ノ泥濱  
ニ於テ短喙鱷ノ大群餌食ヲ  
索メ或ハ身體ヲ伸シテ睡眠

シタル者ニ逢ハリト其地上ヲ行動スルハ其遲緩ナリ

短喙鱔、甚強毅ニシテ其襲撃及防禦ノ用ヲ達スルハ主トシテ尾ニ在リ他ノ動物ヲ襲フニハ先ツ己ガ口ヲ開キテ其襲フヘキ物ヲ口ノ方ニ接近セシメ直ニ尾ヲ奮テ之ヲ打撃ス其力甚強クシテ一回此打撃ヲ受レバ死セザルモノナシ又其餌食スベキ動物ヲ捕ント欲スル時ハ水流ヲ動搖セシメズ徐々ニ游泳シテ全ク之ニ近接シ恐怖スベキ尾ノ一撃ヲ逞シテ直ニ之ヲ吞噬ス

ト云フ

亞米利加ノ赤河ニ蒸氣船ノ未タ通行セザル前

ハ短喙鱔甚夥多ニシテ數百尾筏上ニ群集シ恰

モ無數怒牛ノ鳴號スル如キ啼聲ヲ發セシトテ

見タリシガ嘗テ其近傍ヲ通行スル小舟若クハ

獨木舟ヲ厄ニスルトナク又人ヲモ害セシトナン

ト云フ

トカダ 蜥蜴 〇サルドト云フ語ノ大意ハ鱔魚類ヨリ

カレオン 蠟蟻類ニ至ルマテノ數多動物ノ變種ヲ包有シ

タル者ナレドモ就中最妥當ナルハ蜥蜴屬ナリ



第千三十四圖



領帶蜥蜴

等ナリ吾輩ハ右種類中ニ守宮蠃蜓飛龍スギレス

此屬中ニテ最著ルキ者ハ南  
亞米利加ニ棲テ穴中ニ埋伏  
シ劇キ噬咬ヲ爲ス大龍キバ至阿  
那ノア「イダ」熱帶地方ニ棲  
テ金銀珠玉ト其光澤ヲ争フ  
可キ綠色蜥蜴運動ノ迅速ナ  
ルガ爲ニ著名ナル歐羅巴ノ  
灰色蜥蜴南亞米利加ニ棲處  
スル大蟾蛇アガ僧冠毒蛇スギレ

グ領帶蜥蜴兩脚蜥蜴等ヲ加スレドモ當時ニ博  
物家ニ此類ヲ數屬ニ區分スルナリアガ今ハ此類  
アガマ此動物ハ南亞米  
利加及西印度ニ産スル小  
蜥蜴ニシテ濕地ニ棲シ大  
概薄暮ニ至ルマテハ決シ  
テ動カサル者ナリ其體ハ  
肥大ニシテ隨意ニ膨脹ス  
ル處ノ弛キ皮ヲ被レリ

第千三十五圖



飛龍

飛龍スギレ此飛龍ハ其名ニ負

十洲記

キテ身長纔ニ八寸許ノ無害ノ小蜥蜴ニシテ樹  
木ニ棲ミ小蟲類ヲ餌食ス此動物ハ亞細亞及亞  
非利加ニ居ル者ニシテ思フニ其種數多ナラシ  
大蟾蛇 スギニナナ 此動物ハ身長五尺乃至六尺許ノ蜥蜴  
ノ一種ニシテ南亞米利加ノ沼澤ニ居ル者ナリ  
其地ノ住民ハ屢之ヲ食フト云フ  
毒蛇 バシラタ 此ハシリスクト云フ語ハ元來其目撃レ  
タル物ヲ盡ク擊殺スベキ勢力ヲ有レタリト古  
人ノ想像セシ小説ノ蛇名ナレドモ現今ハ此語  
ヲ南亞米利加ニ産スル無害ノ蜥蜴ニ用井ルナ

第一千三十六圖



毒蛇  
バシラタ

リ此動物ハ頭コリ尾ニ至ルマテ  
三尺許ノ者往々之アリ其脊上ニ  
ハ頭ヨリ尾端マテ連亘セル魚鱗  
様ノ背鬣ヲ具シ又頭上ニ帽子状  
ノ物ヲ具ス故ニ之ヲ僧冠毒蛇ト  
名ク空氣ヲ以テ能ク背鬣ト帽子  
ノ如キ物ヲ脹起シ樹枝ヨリ樹枝ニ飛跳スト云  
フ此動物ハ大槪樹木ノ間ニ住スレドモ全ク樹  
木ノミニ限ラス其故ハ甚游泳ヲ善クシテ往々  
水邊ニ居ルヲアレハナリ

博物學 卷八 九

守宮

此動物ハ兩大陸ニ住スル不快魯鈍ノ蜥  
 蜴ノ一ニシテ其種數多アリ皆鱗ヲ被リテ身長  
 ノ大概一尺許足ノ造構ハ垂直ノ面並ニ承塵ヲ  
 歩ムニ適應セリ此種類ハ夜間ノ動物ニシテ晝  
 間運動スルコトハ甚稀ナリ又家屋守宮ト名クル  
 一種ハ屬埃及印度ノ家屋ニ到リ住民ヲシテ大  
 ニ恐怖セシムルコトアリ蓋其地ノ住民ハ常ニ之  
 ヲ以テ有毒ノ者ト想定スレバナリ  
 蝮蛇 此奇ナク爬蟲ハ蜥蜴ノ如ク鱗ヲ被レ  
 トト細小ニシテ滑ナル瘤様ノモノヲ被レリ此

第一千三百七十七圖



蝮蛇  
カメレオン

爬蟲ノ種ハ六七個アリテ  
 亞非利加、印度、西印度其他  
 温帶地方ニ棲息シ大體身  
 長六寸乃至一尺許ナリ其  
 眼ハ互ニ關セズレテ各個  
 ニ回轉シ舌ハ甚長クレテ  
 尖端ニ粘質物ヲ被リ其舌  
 ヲ吐出スルトキ小蟲類能  
 ク尖端ノ粘質物ニ附着ス蓋此舌ヲ出入スルコ  
 甚迅速ナリト云フ

蝮蛇ノ足ニハ樹上ヲ跂行スルトキ之ヲ緊握ス  
可キ五個ノ趾ヲ具ス其三個ハ前ニアリテ二個  
ハ後ニアリ此爬蟲ノ樹上ヲ運動スル形狀ハ實  
ニ笑フ可キモノニシテ恰モ時辰ノ針ノ動クガ  
如ク拙作<sup>ブキヨウ</sup>ナノ脚ヲ注意シテ徐々ニ前出シ接近  
シタル樹枝ヲ捉把スト云フ又此爬蟲ハ其近接  
來ル小蟲類ヲ食ヒテ數日間一所ニ止息スル  
ヲ往々之ヲリ蓋其食量至小ナルガ爲ニ空氣ヲ  
食テ生活スト云フ妄説ノ起ルニ至レリ又其  
又蝮蛇ハ其止息スル所ノ物體ニ隨テ色ヲ變ズ

ト云フ説ハ全ク誤ニシテ其實ハ種々ノ形勢ニ  
依テ變化スル者ナリ其天稟ノ體色ハ美麗ナル  
綠色ナレドモ激怒スル時ハ變レテ帶藍黑色ト  
ナリ疾病アル時ハ帶黃灰色ニ變ヌ又日光ノ射  
照スル時ハ他時ニ比スレバ其色甚快活ナル者  
ナリ

第三目

蛇類

蛇類即セルペン<sup>オヒシ</sup>ト云フ語ハ水陸兩生ノ動物  
ニ廣ク用ヰル者ナリ此動物ハ肺ヲ具スルガ爲  
ニ口ヲ以テ呼吸シ足耳並鱗等ヲ有セスシテ其

形體ト其柔軟ナルトハ鰻ノ如クニシテ大概  
 鱗ヲ被リ口大ニシテ腹部ノ骨類分開ス蓋自己  
 ノ體ヨリ四倍太キ動物ヲ腹中ニ受容スベキ爲  
 ナリ又蛇類中ニハ隨意ニ起伏スヘキ彎曲空洞  
 ナル小齒ヲ具スル者アリ又無齒ノ者アリ或ハ  
 有毒ノ者アリ或ハ無毒ノ者アリ  
 有毒蛇類ハ上腮ニ二個ノ内空ナル牙アリ此牙  
グノモウニスセルベント  
 ノ纜ニ破碎スルニ因テ其毒忽チ他ノ動物ノ肉  
 中ニ傳フ蓋此毒ヲ吞ミタル時ハ害ナケレドモ  
 傷瘡ヨリ血中ニ入ルトキハ往々死スルトアリ

總テ蛇類ハ極テ貪食ノ者ニシテユウ云  
 フ聲音ヲ發シ其血ハ四足獸ニ比スレハ甚冷ナ  
 リ大概ハ一年ニ兩回其皮ヲ脱スル者ナリ  
 有毒蛇ハ大小數多アリテ其小種ハ長纜ニ五寸  
 許ナレバ王蟒ニ至テハ長往々四丈ニ達スル者  
 アリ其栖處ハ最熱帶地方ニ多シ歐羅巴ニハ甚  
 稀ニシテ愛耳蘭ニテハ之ヲ知ラズト云フ又蛇  
 類中ニハ世人ノ熟知セル有毒ノ種アルガ爲ニ  
 他ノ無毒ノ種ト雖凡人皆之ヲ防禦厭惡シテ屢  
 之ヲ殺戮スルニ至ル蓋此有毒ノ種アルヲ以テ



盲虫蛇ノ如ク鞭撻シテ之ヲ截リ得ヘシ此佗鷄  
雛蛇襪帶蛇等アリ

兩頭蛇 此蛇ハ印度及南亞米利加ニ栖處シ身  
長一尺乃至二尺許滑ナル鱗ヲ被リテ無毒ノ者

ナリ常ニ蚯蚓類、甲蟲類、蟻類等ヲ餌食スル爲ニ

土地ヲ穿堀スト云フ

王蟒 此蛇ハ亞非利加、印度、南亞米利加ニ居リ

身長二三丈乃至四丈ノ者アリ環王蟒ハ至阿那

住ス右兩種共大概光澤ヲ帶タル褐色ニシテ黒

色ノ斑點アリ其筋力ノ強大

ナルヲ實ニ驚クヘシ往々人

及水牛、鹿等ヲ捕ヘテ之ヲ餌

食ス其食セント欲スル者テ

捕フルトキハ螺旋狀ニ緊捲

シ之ヲ壓潰シテ以テ一塊ト

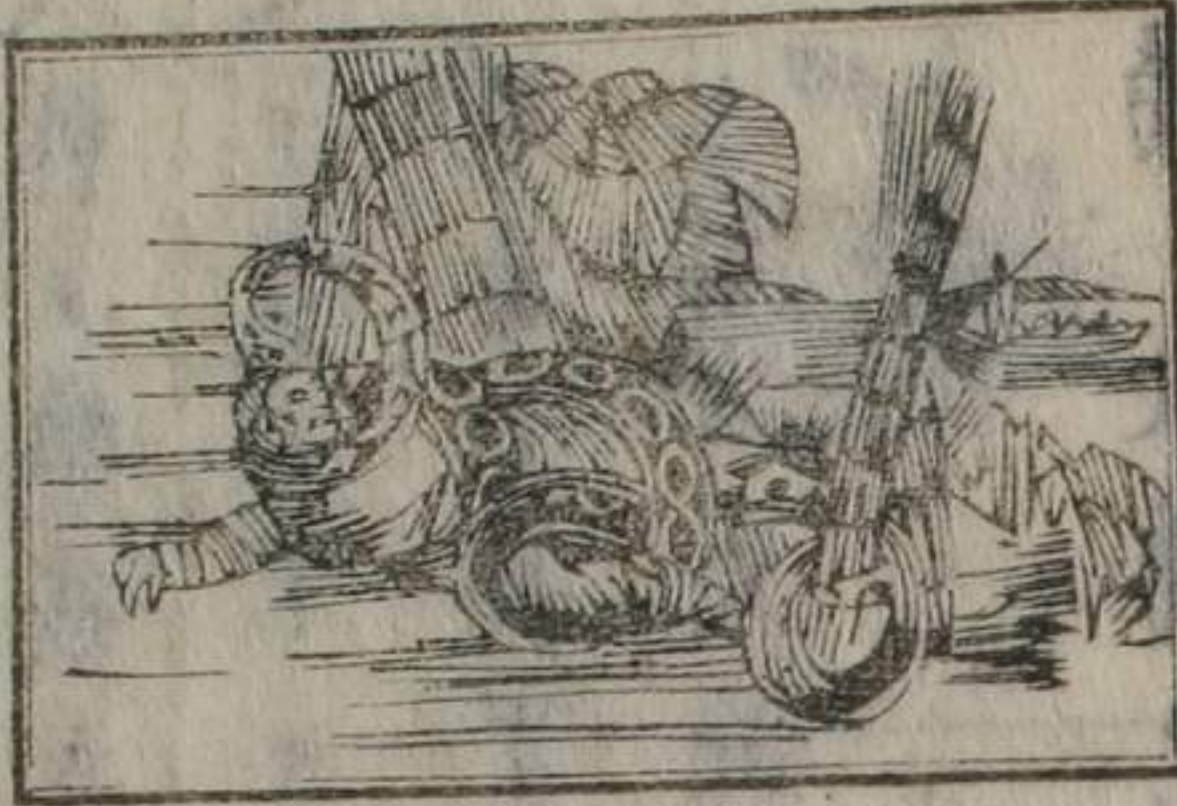
ナレ容易ニ滑過シ得ル爲ニ

粘液質ノ物ヲ出シテ之ヲ潤

シ逐次ニ吞食スト云フ

响尾蛇 此有毒爬蟲ハ亞米利加ノ暖地ニ棲息

圖八十三第



王蟒

ンテ其種數多アリ尋常响尾蛇ハ身長四尺乃至  
 六尺許ニシテ帶黑褐色ナリ此蛇ハ憤怒セサレ  
 ハ害ヲナサズ其近ツキ來ル時ハ尾ノ鳴ルニ因  
 テ人能ク警戒スレドモ若シ之ヲ追フカ又ハ偶  
 然之ヲ履ムトキハ忽チ起立<sup>オリアス</sup>レテ其頭ヲ後方ニ  
 投シ有毒ノ長牙ヲ以テ咬傷レ暫時ノ間絶テ動  
 カズト云フ又此蛇ノ妖術ヲ作スト云フハ全  
 ク誤ナリ  
 蝮蛇屬 此屬ハ世人ノ善ク認知セル有毒ノ者  
 ニシテ其種數多アレトモ身長二尺ニ過ルモノ

第千三十九圖



蝮蛇

甚稀ナリ尋常歐羅巴蝮蛇ハ蝦  
 蟻類、蜥蜴類、鳥類、鼯鼠類ヲ餌食  
 スレトモ又六個月間更ニ飲食  
 セズレテ生活レ得ルナリ其咬  
 ムニ毒アリテ世人大ニ之ヲ恐  
 怖ス昔時埃及ノ女王クンオパ  
 トラノ使用シタル毒蛇ト想定セル埃及蝮蛇ハ  
 甚夥多ニシテ有毒ノ者ナリ水蝮蛇モ亦有毒者  
 ニシテ其體頗巨大且勢力アリ有角蝮蛇即毒角  
 蛇ハ眼上ニ雙角アルヲ以テ區別ス此蛇ハ亞刺



比亞及亞非利加ニ夥多ナリ其他種類尚許多アリ  
 アスプレ 此蛇ハ身長三尺許灰色ニシテ黑色ノ  
 斑點アリ埃及ニ於テ尋常ノモノニシテ甚毒アリ  
 リ鼠類、鼯鼠類、蜥蜴類、蝦蟆類、蟾蜍類ヲ餌食ス  
 海蛇 此動物ハ其形體恰モ蛇ノ如ク長六丈乃  
 至十五丈ニシテ那威ノ海岸及新英蘭太平洋ノ  
 海濱等ニ棲處レ馬ノ如キ頭ヲ具シテ甚迅速ニ  
 游泳シ其形狀ハ恰モ小桶ノ連接シタルカ如シ  
 又此海蛇ハ全ク生存セサル者ト信スル人多ケ

レドモ實ニ存在スル者ニシテ地中海及印度海  
 ニテハ身長二尺乃至六尺ノモノヲ見ルル往々  
 之アリ蓋此蛇類ハ陸生ニシテ時々水中ニ入ル  
 者ト云フ

第四目 蝦蟆類

蝦蟆屬 此屬ハ世人ノ熟知セル者ニシテ茲ニ  
 詳載ヲ要セス蝦蟆類ハ卵ヨリ生シテ蝌蚪トナ  
 リ暫時ノ間此奇異ナル形狀ニ止リ後遂ニ蝦蟆  
 トナル此爬蟲一匹ノ産ミタル卵數ヲ計ルニ一  
 年ニ千二百個ノ大數ニ至ルト云フ蝦蟆類斯ク

第十四圖



蝦蟆類

大數ノ卵ヲ産ムハ數多ノ  
仇敵ヲ有スルカ爲ニ非ラ  
ズレテ恐クハ大ニ其種ヲ  
レテ繁殖セシムレ爲ナラ  
シ  
古昔佛蘭西國ノ各部ニ森  
林多キ時ハ「ヤトウス」邊  
ノ傭人ハ蛙鳴ノ喧スキニ  
因リテ主人ノ睡眠ヲ妨グ  
ルカ爲ニ夏間ハ必毎朝棍

ヲ以テ水潦或ハ池中ヲ攪亂スルノ常例ナリシ

第十四十一圖

モンゴバルク氏  
鞭ヲ蝦蟆類ヲ追フ



ト云フ又「モンゴバルク」  
氏ハ亞非利加ノ某河流  
ニ於テ其馬ニ水ヲ飲マ  
シムルニ蝦蟆類夥シク  
群集セハユエニ鞭ヲ揮  
テ之ヲ追ヒ退ケレテア  
リト又蝦蟆類ハ冬間泥  
中ニ蟄伏シ氣候寒冷ナ  
ル間ハ睡眠シテ動カス

十牙 牙 牙

文部

ト云フ

綠色蛙 一名食用蛙即金線龜 ト、チカカハル 此蛙ハ歐羅巴ノ

各所ニ夥多ニレテ身長三寸許綠色美麗ノ者ナ

リ東大陸ノ侈食家ハ其後脚ヲ以テ甚美味ノ者

トセリ目耳曼ニテハ此蛙ノ殆ト全體ヲ食スト

云フ

樹蛤 即青蛙 此蛙ハ他ノ蛙ニ比スレバ甚瘠セ

タルモノニレテ歐羅巴及亞米利加ニ居リ夏間

ハ多ク樹枝ノ上ニ棲ミテ小蟲類ヲ食ヒ屢後脚

ハ一個ヲ以テ其體ヲ樹枝ニ倒懸スル綠色ノモ

ヲナリ又此蛙ハ敏捷ニレテ善ク其隔リタル距

離ヲ跳過シ得ルト云フ亞米利加ニテハ通常之

ヲ樹蟾蛤ト名ク

牡牛蛙 此水陸兩生ノ動物ハ池水及行潦ニ棲

シ他ノ蝦蟆類ニ比スレバ三倍乃至四倍大ニレ

テ牡牛ノ吼ルガ如キ鳴聲ヲ發スルニ因リ之ヲ

牡牛蛙ト名ク又沼澤ノ地方ニテハ夜間時トシ

テ此蛙聲ニ驚クニアリ合衆國ノ暖地ニ於テ尋

常ノ者ナリ

蟾蜍屬 此屬ハ矮軀ニレテ肥大寬濶遍ク疣ヲ

博物學 卷八 大

十才相馬

被レリ眼ハ大ニシテ齒ヲ具シズ尋常蟾蜍ハ遊  
園、森林、地害其他暗處ニ居リ麻痺シタル形狀  
ナシ穴中ニ在テ冬ヲ過ク又此蟾蜍ハ全ク外部  
ヨリ空氣ノ流通セサル樹下若クハ石下ニ於テ  
百年間モ棲息セシト云フ怪談紛々タリ  
蟾蜍ハ人目ヲ怡バシムル者ニ非ラザレトモ決  
シテ害ヲ為スナレ婦人ハ之ヲ愛シテ善ク馴  
致スル者往々之アリ又蟾蜍ハ長壽ニシテ食蟻  
獸ノ如ク粘質物ヲ抹シタル舌ヲ出シテ小蟲類  
ヲ餌食スビトバ即ビルナム蟾蜍ハ其相貌極メ

テ厭フベキ者ナレドモヒルナムノ黑人ハ之ヲ  
厭ハス其後脚ヲ食テ美味トセリオブストン  
ク蟾蜍ハ佛蘭西ニ居ル小種ナリ綠色蟾蜍ハ歐  
羅巴ノ南部ニ居リ身長三寸許潦水ニ棲處シ窘  
迫スル時ハ臭氣ヲ放ツ者ナリ伯西爾蟾蜍ハ甚  
大ニシテ疣ヲ被リ相貌至醜ナリ此他蟾蜍ノ種  
類尚數多アリ  
蟾蜍屬 此屬ハ蜥蜴ノ形體ヲ有スル動物ノ一  
ニシテ歐羅巴ニ數種、北亞米利加ニ一種アリ某  
種ハ濕地ノ穴中ニ棲シ他種ハ湖河ニ住ス古昔

博物志 卷八

文部省

向テ運營ヲ爲スニ因リ其血ハ酸素ヲ抱合ス而  
シテ其抱合シクル血ハ脊骨ノ下ナル動脈管ニ  
射出ス

魚類ノ味感ハ甚鈍シ其舌ハ過半骨様ノモノニ  
シテ更ニ卷縮スル執カヲ有セス體軀ハ大概鱗  
ヲ被リタレハ往々厚皮刺小瘤等ヲ具スル者アリ  
且魚類ハ頗長壽ナリト略定レ來レトモ甚疑  
シキトナリ茲ニ記載シタル真魚ノ外ニ細微ノ  
機關ハ鋭敏ノ知覺トヲ具シ鳥類及獸類ノ如ク  
其兒子ヲ慈愛スル處ノ他種アリ然レハ此等ノ

種ハ既ニ哺乳動物篇ニ記載シタル鯨魚、壺魚、  
グ

ランブス和名「サカマク」海猪「ボルボイス」等ヲ包有セシ

鯨鯢ノ目ニ屬シテ皆卵生ニ非ラス胎生ノモノ

タリ總テ魚類ノ血ハ寒冷ナレハ此目ノ種ハ温

血ナリ故ニ空氣ヲ呼吸スル爲メニ一二分時間

毎ニ必ス水上ニ現出スト云フ

世界中ノ魚屬ヲ計ルニ總數一千屬ト想定セリ

其中三百屬ハ亞米利加ノ湖海河水ニ生存スヘ

シ又「バス」及鱒「レ」白魚等ノ如キ海魚ノ亞米利加西

方ノ大湖ニ居ルハ一奇事ナリ蓋洪水ノ爲カ或

第千四十二圖



我杭等一附着スレバ過半ハ波浪ノ爲ニ滅盡ス  
ト云フ

ヨリ來レリトスルヲ其實ニ  
過キタリ

魚類ハ無數ノ卵即魚子ヨリ

生スル者ナリ鱒魚ハ一季ニ

九百萬ノ卵ヲ生シ比目魚ハ

一百万鮫魚ハ五十萬ヲ生ス

右魚類ハ皆卵ヲ淺所ニ産ス

其膠質ノ膜アルニ因テ岩石

魚類ハ割烹ノ用ニ供給セラレ且己ヲ捕スル處

衆多ノ男女及童子スレテ漁獵ノ業ヲ營クニ

ムル者ナリ其形體ハ容易ク迅速運動スヘク適

應セリ其體ノ各部ニ生スル鱗ヲ以テ前進シ頭

ノ兩側ニ在テ肺ノ用ヲ達スベキ鰓ニ因テ呼吸

ヲ爲ス者ナリ

此鰓ハ舌骨即舌根ノ骨ニ附着シタル數層ヨリ

成ル其各層ハ無數血管ノ網膜ヲ以テ被覆シ吞

ミタル水ハ皆此層間ニ入ル斯クテ水中ニ含蓄

セル空氣ハ心臟ヨリ斷エズ鰓ニ升リ來ル血ニ

專力  
三十一

向テ運營ヲ爲スニ因リ其血ハ酸素ヲ抱合ス而  
シテ其抱合シタル血ハ脊骨ノ下ナル動脈管ニ  
射出ス

魚類ノ味感ハ甚鈍シ其舌ハ過半骨様ノモノニ  
シテ更ニ卷縮スル勢カヲ有セス體軀ハ大概鱗  
ヲ被リタレ凡往々厚皮刺小瘤等ヲ具スル者アリ  
且魚類ハ頗長壽ナリト略定レ來レトモ甚疑  
シキトナリ茲ニ記載シタル真魚ノ外ニ細微ノ  
機關ト銳敏ノ知覺トヲ具シ鳥類及獸類ノ如ク  
其兒子ヲ慈愛スル處ノ他種アリ然レ凡此等ノ

種ハ既ニ哺乳動物篇ニ記載シタル鯨魚、壺魚、

ランブス和名「サカマタ」海猪「ボルボイス」等ヲ包有セル

鯨鯢ノ目ニ屬シテ皆卵生ニ非ラス胎生ノモノ

タリ總テ魚類ノ血ハ寒冷ナレ凡此目ノ種ハ温

血ナリ故ニ空氣ヲ呼吸スル爲メニ一二分時間

毎ニ必ス水上ニ現出スト云フ

世界中ノ魚屬ヲ計ルニ總數一千屬ト想定セリ

其中三百屬ハ亞米利加ノ湖海河水ニ生存スヘ

シ又「バス」及鱒、白魚等ノ如キ海魚ノ亞米利加西

方ノ大湖ニ居ルハ一奇事ナリ蓋洪水ノ爲カ或

ハ大古ニ在リテ此湖ハ海ト通ズル水路ノアリシト考定セリ

クヴール氏魚類ヲ分テ二部トス即刺鱈魚類ノ骨

多キ鱈ノ具軟鱈魚類具柔軟ナル鱈ヲ是ナリ又此

スル魚類マラコポーリーニ細分スレバ吾輩ハ之ヲ六目ニ

二部ヲ數小區ニ細分スレ

第一目 刺鱈魚類

河鱈屬 鰻ヲ除クノ外ハ河鱈屬ノ如ク殆ト世

界中ニ散布シタル種類アルナレバ尋常河鱈ハ

帶褐黄色ニシテ金色ヲ交ヘ身長八寸乃至一尺

三寸許ナリ河鱈ノ種ハ數多アレドモ皆割烹ニ

供スル爲ニ甚價アリ

鱈魚 此魚ハ海河鱈ノ一種ニシテ歐羅巴ノ海

岸ニ甚夥シ特ニ地中海及和蘭陀ノ海濱ニ多ク

シテ食料ノ爲ニ甚貴重セリ此魚ハ亞米利加ノ

海岸ニモ亦尋常ノ者ニシテ大ナル河口ノ近傍

ニ於テ之ヲ漁獵スルノ量甚多シ思フニ合衆國

イリ湖ニ産スル岩石河鱈即白色河鱈ハ海河

鱈ト同種ナラン

金鱈甲 此魚ハ河鱈ニ類似シ其種印度洋ニ數



多アリテ體色光澤アルガ爲ニ著明ナリ

馬鮫郎 イノヒゲ 此魚ハ印度海ニテ漁スル橙色ノ魚ニ

シテ其味極メテ美ナリ

藍翼魚即火魚 カネカシラ 此魚ハ歐羅巴ノ海中ニ棲ミテ

其種數多アリ其主眼ナル者ハ灰色藍翼魚杜鵑

藍翼魚有線藍翼魚ナリ以上ノ種類ハ皆身長一

尺乃至二尺許ニシテ貴重スベキ善良ノ食料ト

ナル又具蹠指藍翼魚ハ紐約克ノ近傍ニ居リ頭

上ニ書信袋様ノモノヲ具レタル醜魚ナリ

飛魚 トビノウラ 此奇魚ハ大サ鱒白魚ニ均レク大西洋及

第十四十三圖



飛魚

地中海ノ暖部ニ棲ム其大敵

トラーノ属ナリ此トラー

トハ水中ニテ劇シク飛魚ヲ追

ヒ遂ニ之ヲシテ甚遠ク飛バシ

ムル者ナリ飛魚ハ斯ノ如ク飛

逃レテ能ク水中ノ難ヲ免ルト

雖凡亦熱帶鳥信天翁等ノ爲ニ

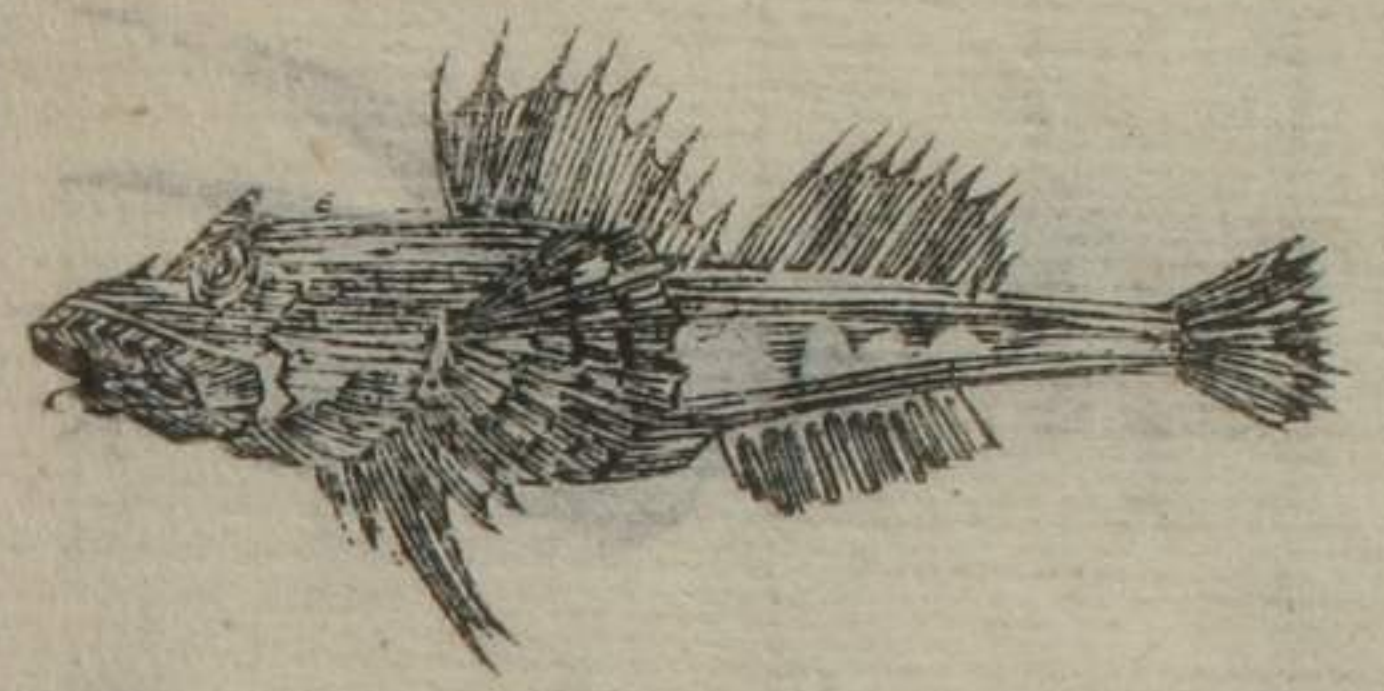
捕獲セラレテ往々空中ニ擲ミ去ラル又時トシ

テ淺所ノ舟中ニ飛ヒ入ルコトアリ

杜父魚 カハコ 此魚ハ其種二個アリ河杜父魚ハ小ニ

シテ身長四寸乃至五寸許ナリ又鹹水ニ住スル

第千四十四圖



クワウルペン

種ヲ「スクウルペン」ト名ク  
スクウルペン 此醜魚ハ英國  
ニテ「バーッル」ヲ稱シ頭  
極メテ大ナリ體ニハ仇敵ヲ防  
禦スヘキ刺ヲ被リテ善良ノ食  
料ニ供スル能ハス又此魚ハ他  
魚ヲ捕ント欲レテ投シタル餌  
ヲ吞ミ大ニ漁入ヲ惱ス者ニシ  
テ亞米利加及綠洲ノ海岸歐羅

巴ノ各部ニ多シ

虎魚屬 此屬ハ歐羅巴ニ産スル者ニシテ杜父

魚ニ類似セリ

尖嘴鱧屬 此屬ハ光澤アル奇魚ニシテ熱帶ノ

岩石多キ海濱ニ居ル者ナリ

第千四十五圖



海燕魚

ノ一ニシテ身長十寸乃至一尺ニ  
寸許古昔ヨリ食料トナレテ最貴  
重セリ又鰾魚ノ海濱ハ歐羅巴ノ  
各所及新英蘭ニ於テ甚盛ニシ

テ數人ノ職業トスル所ナリ此魚ハ生鮮及塩藏

共ニ食ス又海鰻魚ハ魷魚ノ變種ナリ

金鎗魚 此物ハ魷魚屬ノ一魚ナリ亞米利加ノ

海濱ニ居ルモノハ身長二尺ニ越エザンドモ稀

ニハ一丈六尺ニ及フ者アリ常ニ魷魚ヲ追テ之

ヲ貪食ス又此魚ハ昔人モ熟知セル者ニシテ思

フニ昔時モ現今ノ如ク無數群集セシモノナリ

希臘國歷山王ノ船隊嘗テ此魚ノ群集セル一

塊ノ爲ニ其行進ヲ妨ケラレシコトアリト云フ又

地中海ニ於テハ大ニ此魚ヲ食料ニ供スト云フ

第千四百六十六圖



此小魚ハ歐羅巴ノ海中ニ栖處ス割烹ニ供レテ甚稱讚シ阿利被色ニシテ生活スル時ハ其色恰モ鍍金シタルモノ、如レ

萬寶鯛 此魚ヲ以テ海中ノ粧扮子ト稱スル

ヲ猶林中粧扮子ノ青色カレドリ鵜鳥ニ於ケルガゴトシ

身長ハ六尺許其色ノ美麗ナルガ爲ニ著明ノモ

ノナリ帶銀綠色ノ美服ヲ装ヒタレドモ恰モ美

麗ノ衣服ヲ着セル人ノ如クシテ甚緊要ノ者ニ

非ス

第千四十七圖



旗魚  
イノトビ

此魚ハ身長二丈ニ及フ者  
 往々アリテ長サ三尺許ノ嘴ヲ具  
 ス其質ハ粗ナル象牙ノ如シ又此  
 魚ハ頗強勁ニシテ鯨魚ノ仇敵タ  
 リ其機會ヲ得ルトキハ直ニ鯨魚  
 ヲ侵襲スト云フ地中海ニテハ此  
 魚ヲ食料ニ供シテ甚貴重セリ又  
 亞米利加ニテモ屢之ヲ食スト云フ  
 帶水魚 此魚ハ身長一尺六寸許亞米利加及印  
 度海ニ栖處シテ航海者ノ熟知セル者ナリ其數

週 開船舶ヲ逐テ之ニ近接スルヲ帶水魚ノ職  
 務タルカ如シ水夫ハ思ヘテク此魚ハ常ニ沙魚  
 ノ前驅ヲ爲シテ其先導トナリ遂ニ沙魚ノ爲ニ  
 餌食セラル、ナリト且又此魚ヲ稱シテ海猪ト  
 モ唱フルナリ  
 攀木魚 此魚ハ印度及支那ニ居テ甚有名ノ者  
 ナリ其故ハ此魚上陸ヲナスノミナラズ水岸灌  
 木ノ枝ニ攀上シ且水溪ヨリ隔リタル地ニ向テ  
 匍行スト云フ印度ノ欺騙者ハ之ヲ以テ衆人ノ  
 展觀ニ供シ又同地方ノ童子ハ之ヲシテ強テ地

上ヲ跋ハシメ以テ娛樂ニ供スト云フ

此魚ハ身長一尺許歐羅巴海ニ産シ特ニ

地中海ニ夥多ニシテ割烹ノ供

給ニ充ツ昔時ノ羅馬人ハ大ニ

之ヲ貴重セリト云フ赤色鰻魚

ハ亞米利加ノ海岸ニ居レドモ

食ス可キ者ニ非ス

海狼即猫魚 此魚ハ四尺乃至

五尺許ニ生長シ且勢カアル者

ニシテ其頭ハ猫頭ニ類似セリ

第千四百八圖



海狼

常ニ其勁キ齒ヲ以テ介殼ヲ破リ介類ノミヲ餌

食ス總ヘテ此魚ハ歐羅巴及

亞米利加ノ北海ニ栖處シ水

洲人ノ食料トスル者ニシテ

亞米利加西方ノ諸河ニ居ル

猫魚トハ異ル者ナリ

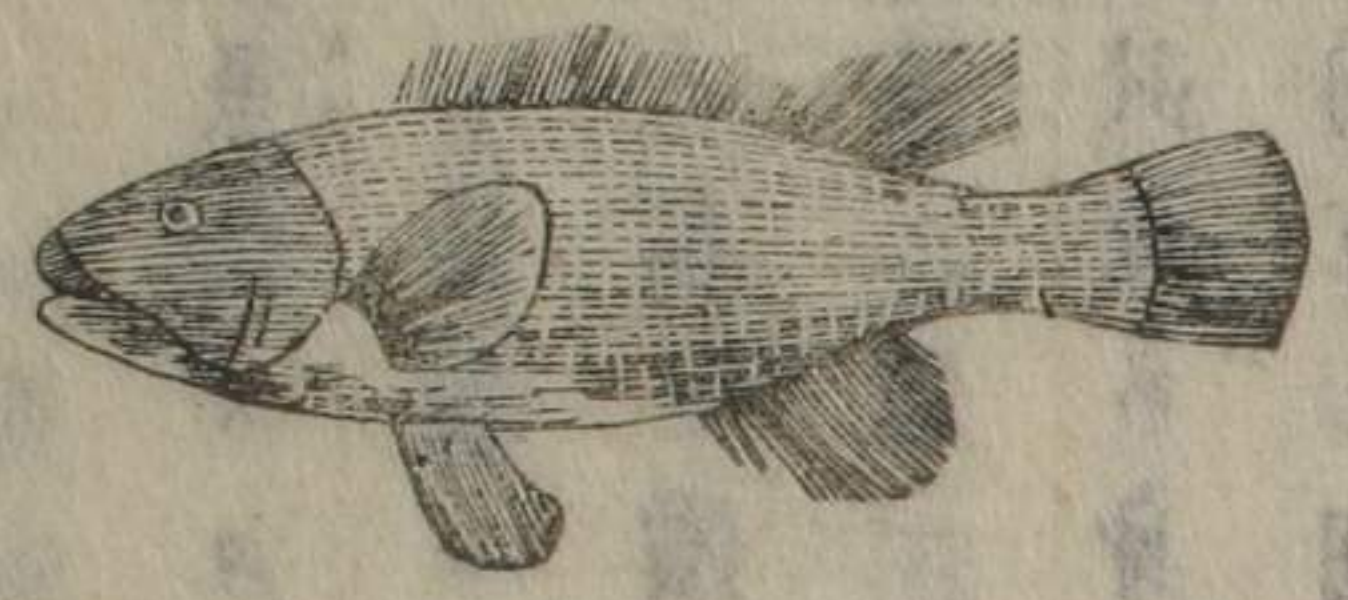
軟唇鰻即黑色魚 此魚ハ合

衆國北方ノ海濱ニ尋常ノ者

ニシテ新伯爾多及新倫敦ノ

近傍ハ最多シ又此魚ハ割烹

第千四十九圖



軟唇鰻

ニ供シテ甚貴重シ其重量千斤ニ及フ者往々之アリ

柔軟魚即スコテアギユマスカキユセツト此魚ハ馬沙諸些ノ海濱ニテ漁獵スレヒ稀少ノ者トシテ身長一尺許割烹ノ爲ニ價アリ

第二目 軟鱈魚類

鯉 此魚ハ身長一尺許ニシテ阿利襪色ナリ歐羅巴南方ノ湖河ニ居リ性狡猾ナルガ爲ニ之ヲ河狐ト名ク之ヲ捕フルカ爲ニ設レ網ヲ屢跳過シ又ハ體ヲ泥中ニ埋メテ逃ルト往々之アリ且

此魚ハ交易ノ要品ニシテ稀ニハ甚大ナル者アリ

此鯉屬ニ列スル者ハ金魚キムギコ即金色鯉珠鱗金魚コルデンカクテハルブルヒマ

鯽魚セウイシ鯢魚アヌウ碎魚等ナリ

鯽魚フレイムギヨドシ此魚ハ歐羅巴ノ淡水ニ棲ニ身長二尺五寸許ニシテ阿利襪色ナリ亞米利加鯽魚即ボレ

プスキレントハ尋常亞米利加ノ池河ニ産ン

テ身長六寸乃至七寸許ナリ

碎魚シユウケル此魚ハ性懶惰ニシテ黒色ナリ亞米

利加ノ河流湖水等ニ居リ身長一尺六寸許常ニ水底ノ石或ハ植物ノ根ニ口ヲ固着シ日熱ニ偃

曝スト云フ

嘉魚ゴビ 此魚ハ歐羅巴ニ産レテ重量十八斤ニ至

ル者往々之アリ常ニ河中ノ深處ニ棲ニ其鼻ヲ

以テ柔軟ナル河岸ヲ穿ツト云フ其肉ハ粗ニシ

テ貧人ノ外之ヲ食スル者ナレ

鱧魚マダ 此屬ハ鱗ナクテ頭ノ兩側ニ鬚ヲ具

ス歐羅巴及亞米利加ノ諸河ニ於テ尋常ノ者ナ

リ新英蘭ニ産スレ有角鯰魚ハ身長八寸許ナレ

トモ亞米利加西方ノ諸水ニ産スル者ハ往々ハ

尺ニ至ル者アリ此地ニテハ之ヲ猫魚ト名ケ又

第一千五十圖



有角鯰魚  
ホルンボウト

有角鯰魚ハ湖池江河等ニ棲ニ  
テ濁水ヲ好ム者トス時トレテ  
ハ之ヲ杜父魚ト名クレドモ眞  
ニ此名ノ適當セル者ハヌクウ  
ルピンナリ

竹籬魚 尋常竹籬魚ハ身長ニ

尺許歐羅巴及亞米利加ノ河湖

等ニ於テ魚捕ス新英蘭ニテハ

上等ノ割烹ニ供スル魚類ノ一タリ又此魚ハ勇

猛貪食ニシテ容易ニ死セザル者ナリ海竹籬魚

專勿是 志入 三 尺下魚

ハ稀ニ新英蘭ノ河中ニ居リ長キ管嘴ヲ具スル  
ニ因リ往々之ヲ嘴魚ト名ク身長二尺五寸許ナ  
リ

水針魚 此魚ハ身長二尺許上部帶藍綠色下部

銀色ニレテ歐羅巴及亞米利加ノ海中ニ産ス又

此魚ヲ剖割スレバ其骨綠色トナルガ爲ニ偏見

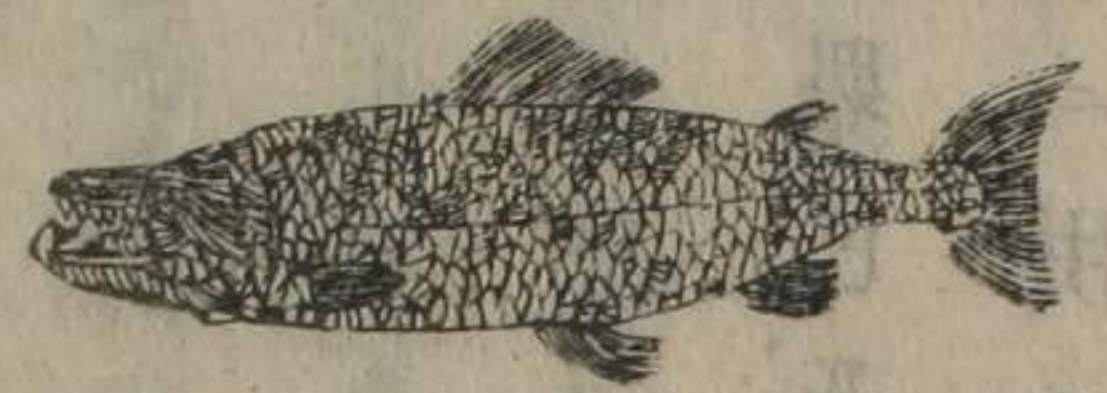
ヲ起ス者少カラザレドモ之ニ關セズ割烹ニ供

ミテ甚貴重セリ

狗吐魚屬 此屬ハ昔時ヨリ世人ノ認知セル者

ニレテ頗有名ナリ兩大陸ノ北地ニ産レ身長二

第十五十一圖



狗吐魚

尺乃至五尺許帶藍黑色ナレ

其肉ハ赤色ナリ昔時ハ新英蘭

ノ諸河ニ於テ尋常ノ品ナレド

モ現今ハ其數大ニ減少セリ而

シテ此屬中ニハ石斑魚香魚

イニアド等ヲ包有ス

石斑魚 此魚ハ其種數多アリ

海石斑魚即狗吐石斑魚ハ海ト

相通スル處ノ水中ニ居リ身長一尺五寸許肉赤

色ニレテ割烹ニ供シ甚之ヲ貴重セリ亞米利加



博物志卷之八

北方ノ某湖ニハ夥多ナリト云フ尋常石斑魚ハ  
歐羅巴及亞米利加ノ湖河ニ産シ性敏捷ニシテ  
之ヲ捕フルニハ大ニ漁人ノ智巧ヲ要スト云フ  
ギユイニアド此魚ハ歐羅巴ノアルピン湖ニ棲  
ク廣ギユイニアドハ日耳曼及瑞典ノ諸河ニ住ス  
兩種共ニ身長一尺許帶藍灰色ナリ  
香魚アユ此小魚ハ海水ニ接スル大小ノ河江ニ居  
リ歐羅巴亞米利加ニテハ秋天大ニ之ヲ捕ヘテ  
割烹ニ供スル者ナリ  
沙鑽トウモロコシ此魚ハ英國ゾウサレプトニノ近海ニ於

テ尋常ノ者ナリ身長四寸許此地方ニ在リテハ  
之ヲ香魚ト名ク又此魚ハ決レテソウサレプト  
ニノ近海ヲ離レサル者ニレテ嚴冬ニ外ハ漁獵  
ノ數常ニ甚大ナリト云フ  
鱒白魚ヘルクシク此魚ハ夏時北海ヨリ佛蘭西西方ノ海  
岸ニ出ツ又同時ニ大群ヲ成シテ亞米利加ニモ  
來ル者ナリ此時ニ方リテ漁舟皆出テ之ヲ漁ス  
ト云フ又鱒白魚屬ニ屬スル者ハ鱈魚ハダマシホダト、ベ  
トト、ピルセルドサレ撒顛魚等ナリ此撒顛魚ハ地中  
海ニテ捕ヘ阿利襪油ニ浸シテ亞米利加ニ輸送

博物志卷之八 三十一 大正

スル一頗美味ト稱シテ甚貴重スル者ナリ  
 「メニハデシ又ハルド」ト即骨魚ボーンフィッシュ 此魚ハ身長  
 一尺乃至一尺二寸許新英蘭ノ海灣ニ於テ大ニ  
 漁獵スル者ナリ烟薰シテ以テ食物ニ供スレド  
 モ其主用トスル處ハ肥料トナシテ田地ニ散布  
 スルトリ  
 「アルダフ」此河魚ハ「サド」及鱈白魚ニ類似セリ  
 夥シク之ヲ捕ヘテ塩藏スルナリ  
 ホイト、ヘート 此小魚ハ達達斯河中ニノミ産  
 スル者ナリ特ニ之ヲ食フカ爲ニ倫敦ヨリ綠威

ニ趣クノ火伴甚多レト云フ  
 「ピルセルト」此魚ハ鱈白魚ニ類似スレドモ之  
 ニ比スレバ稍小ニシテ肥大ナリ身長八寸許ニ  
 シテ夥ク歐羅巴ニ産ス其大數ヲ捕ヘテ鹽藏ト  
 ナシ食用ニ供スルナリ亞米利加ニテモ亦之ヲ  
 産出スルナリ  
 「サド」此魚ハ其形體鱈白魚ニ類似スレドモ之  
 ニ比スレハ細クシテ大ナリ歐羅巴及亞米利加  
 北方ノ河水ニ産ス其歐羅巴産ノモノハ亞米利  
 加産ニ比スレバ下品ナレドモ歐洲ニテハ割烹

ニ供レテ之ヲ貴重セリ又干尼底吉河ニテ漁ス  
ル處ノ「サド」ハ甚大數ニシテ之ヲ鹽藏レ桶ニ盛  
テ食用ニ供スト云フ

馬鱖

此小魚ハ身長六寸許佛蘭西及以太利ノ

海岸ニ於テ捕漁スルヲ甚夥レ以太利「ダホル

」ノ邊ニテハ夜間ニ舟ヲ舩ニ網ヲ投シ火把ヲ

照レテ之ヲ捕フ此魚ハ生鮮ニテ食セ或ハ馬鱖

糝汁ヲ製スル爲ニ用ヘル者ナリ蓋此魚ヲ烹煎

スレバ速ニ溶解レ得ル者ナリ

第三目 柔軟頸下腹鱖類

此目ノ魚類ハ胸鱖ノ下ニ附着セル腹鱖ヲ具ス

ルヲ以テ區別ス

鰈魚 此魚ハ灰色ニシテ黄色ノ斑點ヲ帶ヒ此

海ニ産シテ徒住スル魚類ノ魁首ナリ身長ハ往

々五尺有餘ニ至ル者アレドモ大概ノ二尺乃至

三尺ナリ鰈魚ノ漁獵ハ昔時ヨリ緊要ノモノニ

シテ其大ニ群集スル所ハ紐方蘭ノ海濱ナリ

海底ノ砂中ニ居ル蟲類ヲ食セント欲シテ年々

紐方蘭ニ來ル處ノ鰈魚ハ其數實ニ計ル可ラス

漁人之ヲ捕獲スルノ量モ亦極メテ廣大ニシテ

歐羅巴及亞米利加ノ供給ニ充テ老練ノ漁人ハ一日ニ四百尾ヲ得ルト云フ又紐方蘭ニウホランドヲ未タ發見セサリレ前ニ此魚ノ漁獵ノ第一場ハ愛撒倫アイスランド海ナリ此鰈魚屬中ニハ「ハドック」「ホイチング」「グレイク」「石炭魚等」ヲ包有ス

「ハドック」此魚ハ身長一尺乃至二尺許上部帶黒褐色ニレテ下部銀色ナリ歐羅巴及亞米利加ニ於テ尋常ノ者ナレ凡鰈魚ニ類似レテ其味ハ甚美ナリ

「ホイチング」此小海魚ハ歐羅巴及亞米利加ニ居

リ身長六寸乃至一尺許大ハ英蘭ニテハ之ヲ漁獵スルノ業甚緊要ナリ其之ヲ乾イキラントシタル物ヲ「スホーレジン」ト名ク

「石炭魚」此魚ハ北海ニ産シ身長六寸乃至二尺四寸許上部黒色下部銀色ナリ而シテ此魚ニハ其名稱數多アリト云フ

「グレイク」此魚ハ北亞米利加ノ「グレイブ」「コック」ニテ販賣シ此地方ニテハ之ヲ柴魚ト稱ス身長一尺乃至二尺許ナリ又市場ニ在テハ此魚ヲ「ブール」「シヨント」ト名ク

「<sup>1</sup>ブルロク」此美麗ナル魚ハ身長一尺二寸乃至一尺六寸許鈎ヲ以テ捕ヘ得ベシ其割烹ニ供スルガ爲ニ頗價アリ而レテ歐羅巴及亞米利加ノ海中ニ於テハ甚尋常ノ者ナリ

トハコト 此魚ハ變種ノモノ甚多シト想像シタレトモ近來ニ至リテ此變種ハ皆同ニ種ニシテ全ク氣候ノ差違ニ因リテ其色モ亦殊異ナルモノト考定セリ

紐約克ニテ之ヲ水魚ト名クル所以ハ擋網ヲ以テ冰中ヨリ之ヲ捕ヘ得ルハナラ

歐羅巴及亞米利加ニテ海ト交通セル水中ニ

ハ此魚甚多シ

「<sup>1</sup>リング」此魚ハ歐羅巴産ニシテ身長二尺乃至四尺許英蘭ノ海岸ニ甚夥多ナリ其地ニテ之ヲ漁獵レ鹽藏レテ以テ内國及外國ノ需用ニ供スルナリ

此屬ハ星鰈ホレカレヒ俗名石鰈イシカレヒ俗名ダブシクビラ鞋底魚ソール板魚イタ等ヲ包有ス此諸魚ハ特異ノ性質ヲ具スル者ニシテ其雙眼ハ片方ノ體側ニアリ而レテ口ノ兩側等レカテズ其游泳スルニハ體ヲ扁平ニスト云フ又此諸魚ハ美味滋養トナルモノ

ニシテ其種類ノ多キコトハ實ニ驚クヘキナリ  
グイス 此魚ハ石鰈ニ類似シ身長一尺許歐羅  
巴ノ北海ニ産シテ英蘭ニハ尋常ノ者ナリ其味

第一千五十二圖



星鰈  
グイス

ハ美ナラザレドモ世人之ヲ食  
ス其重量ハ往々十五斤ニ至ル  
者アリ

石鰈 此魚ハ常ニ水底ニ居テ  
屢泥中ニ潜伏シ歐羅巴及亞米  
利加ニハ尋常ノ者ナリ  
タブ 此歐羅巴産ノ魚ハ身長

第一千五十三圖



石鰈  
フロオニス

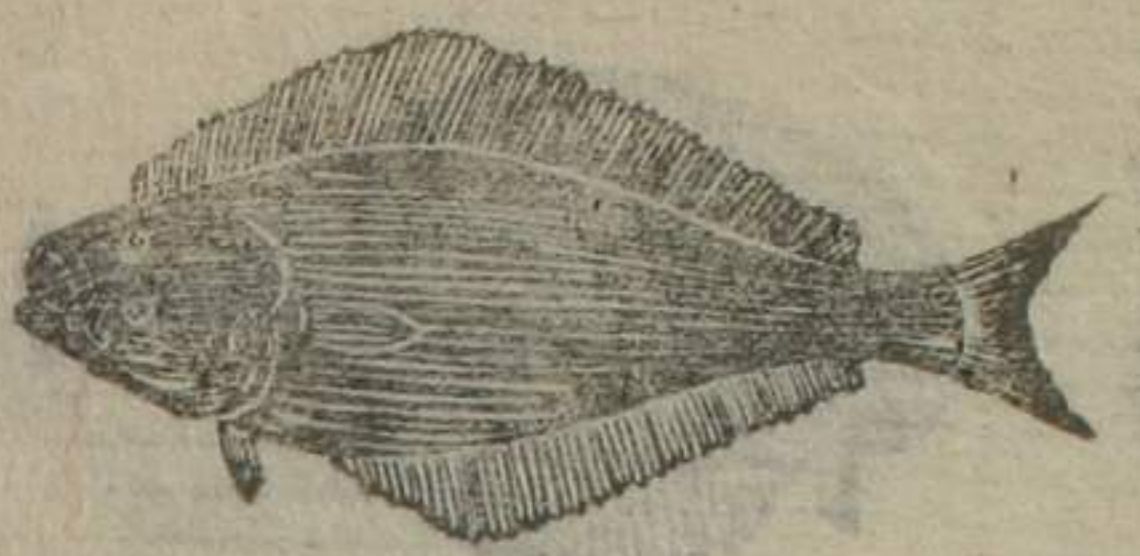
六寸乃至八寸許石鰈ニ相似タ  
リ  
鞋底魚 此魚ハ身長二尺許割  
烹ニ供レテ甚貴重ス現今ハ亞  
米利加ニ住スル者ト想定スレ  
ドモ昔時ハ歐羅巴海ニ固有ノ  
者ト考定レ英蘭ニハ最夥多ナ  
リ

「タルボド」 此魚モ亦割烹ノ爲ニ甚貴重スル者  
ニシテ身長二尺許ナリ英蘭ニテハ殊ニ他ノ魚

類ヨリ價アル者ナリ

真鰈 ハリゴト 此魚ハ甚大ニレテ其重量三百斤ニ至ル

第千五十四圖



真鰈 ハリゴト

モノ往々之アリ且諸魚類中最  
モ貪食ナル者ノ一ニレテ航海  
者ノ深淺ヲ測ル爲ニ水中ニ投  
ズル處ノ測量鉛ヲ吞ムト屢之  
アリト云フ  
塊魚クニシメ即「クニシメ」クニシメツゲル此魚  
ハ歐羅巴及亞米利加ノ海ニ産  
シテ深紅色ノ粗皮ヲ具シ身長

第千五十五圖



塊魚 クニシメ

一尺四寸許體ノ下部ニ一孔アリ  
此孔ヲ以テ能ク其好ム處ノ  
諸物體ニ緊着ス

第四目 柔軟無腹鰭類 マラコピテリシトアボテス

此目ハ鰻ノ如ク形體長クシテ  
柔軟ノ厚皮ヲ具シ見難キ鱗ヲ  
被リテ骨ノ寡キ魚類ヲ包有ス

鰻 ウナギ 此魚ハ其種數多アリテ最著明ナル者ヲ

ハ海鰻ウナギ及電鰻ヒキウナギトス尋常鰻ハ身長二尺乃至三尺許晝間ハ泥中ニ隠レ夜間ニ至レハ蟲類及小

蟲類ヲ索ル爲ニ出ツ此鰻ハ食料ニ供シテ甚貴  
重セリ電鰻ハ南亞米利加ノ流水江河等ニ棲  
キ

鰻  
イール

第一千五百六十六圖



身長五尺許ニシテ其色同一ナ  
ラズ  
此電氣ヲ有シタル電鰻ハ其衝  
動ヲ他物ニ與フルニ甚激烈ニ  
シテ他ノ動物之ヲ受クレバ屢  
斃死人此衝動ノ爲ニ起リタル  
疼痛麻痺ハ甚猛劇ノモノナリ  
嘗テ此衝動ヲ蒙リレホンボル

ト氏ノ説ニ其疼痛シタルハ終日ナリシト云  
フ又此電鰻ハ其餌食スベキ量數ヨリモ數多  
魚類ヲ殺害スル者ナレハ鱗族皆之ヲ恐怖セサ  
ル者ナン

海鰻モ 此魚ハ其種數多ワリテ一ハ北海ニ棲  
キ他ハ地中海ニ住ス北海ノ一種ハ大概身長五  
尺乃至六尺許性極メテ貪食ニシテ其最大ナル  
者ハ重量百斤ニ至ル者往々之アリ

第五目

縷狀鰓魚類

海馬タウノオトシコ 此奇ナル動物ハ身長一尺八寸許ニシテ



頭ハ馬頭ニ酷肖セリ

ウミウシ 鷹魚 一名有翼馬魚

此魚ハ海馬ニ類似シ翼ニ

髻髯タル鰭ヲ具ス故ニ古昔詩人ノ述作セシ小

說中ニアル有翼馬即「ペガシ」スノ名ヲ採リテ

之ヲ有翼馬魚ト名ク此魚ハ前者ノ如ク印度海

ニ産スル者ナリ

第六目 軟骨鰭魚類

スズメ 海牛屬 此屬ハ鰭及口ヲ除クノ外骨ヲ以テ作

リタル板ノ如キモノヲ被レリ此屬ハ印度及南

亞米利加ノ海中ニ産シ身長四寸乃至一尺許ナ

リ嘗テ此魚屬ノ二三尾暴風雨ノ爲ニ合衆國ノ

海濱ニ擲上セラレタルコアリ思フニ此魚ハ北

緯ノ海中ニ棲息セシモノナラレ

翻車魚屬又河豚屬 此奇ナル魚屬中ノ某種ハ

重量五百斤ニ至ル者アレドモ他種ハ身長纔ニ

八寸乃至一尺ニ達ルノミ又此屬ハ體ノ造構奇

異ニシテ水面ニ泛ヒタル時空氣ヲ以テ能ク其

體ヲ膨脹スルコトニ適應セリ歐羅巴及亞米利加

ノ海岸ニ産シテ膨脹魚、輕氣球魚、吹者魚等ノ數

名アリ其十分膨脹シタル時之ヲ踏著スレバ高

調ノ聲ヲ發スル者ナリ

沙魚屬 此屬ハ畏ルヘキ魚類ノ一屬ニシテ其

種ハ各所ノ海中ニ住セリ就中世人ノ大敵タル

第千五十七圖



白色沙魚  
ホワイトサルク

者ハ白色沙魚ニシテ身長往ヤ  
三丈ニ達スル者アリ此魚ハ魚  
類中ノ最貪食者ニシテ其口ト  
喉トハ人體ヲ吞ムコト一適應セ  
リ又堅硬銳利ナル六個ノ齒ト  
前後ヲ看視スベキ大眼ト多刺  
ノ堅硬粗皮トヲ有セリ

熱帶地方ノ海中ニ於テ白色沙魚其餌食ヲ索ル

為ニ船舶ヲ隨行スル航海者ハ尤恐怖スル所

ナリ其游泳スルコト極メテ迅速キニテ快駛スル

船舶ヲ超過スルコトアリ而シテ此魚ノ勁敵トス

第千五十八圖



公子帽沙魚  
シエモクザノ  
ハンブルヘーネトサルク

ル者ハ印魚ナリ此印魚ハ能ク  
白色沙魚ノ體ヲ衝突シテ體中  
ノ水氣ヲ漸々ニ滲出セシメ遂  
ニ全ク之ヲ盡スニ至ルト云フ  
又白色沙魚ノ信友タル帶水魚  
ハ數多ノ疑說アレバ其身ヲ以

テ沙魚ノ餌食ニ供スル爲ニ沙魚ノ水路官タル者ノ如シ此他沙魚ノ種類尚數多アリ即犬沙魚ハタガメ、黃沙魚ヒモクサ、偃曝沙魚ヒモクサ、帽子沙魚ヒモクサ、長尾沙魚、藍色沙魚ニシクオモセ、シーバスバスキング、サルクハンメル、トモトナルクロング、ライロードサルク、ブリコーサルク、海狐シーホキス、即拍禾沙魚等ナリ

拍禾沙魚 此魚ハ身長一丈乃至一丈四尺許亞米利加ノ海岸ニ尋常ノ者ニシテ往々其動尾ヲ奮テ鯨魚ヲ鞭撻スル爲ニ著名ナリ又此魚ハ鯨魚ヲ侵襲セント欲レテカチトホシ旗魚ト伴ヲ結フト云フソイルドヒマ

犬沙魚 此魚ハ惡心貪食ニシテ鰈魚ノ大敵ナリ英國及合衆國ノ海岸ニ産シ身長三尺上部ハ

褐色ニシテ下部ハ白色ナリ又其主眼ハ鰈魚ニ似タレドモ竹籤魚ト異ナルハ性温和ニシテ貪食ナラズ大ナル者ハ重量四百斤ニ過ルヲ往々之アリ歐羅巴及亞米利加ノ諸河ニ屢往來セリ亞米利加ニテハ之ヲ割烹ニ供レテ貴バザレドモ英國ニテハ大ニ食料ニ充ル者ナリ又奇法ヲ以テ其魚卵ヲ製シ之ヲ鹹魚橋ト名ク歐羅巴ニ

第千五十九圖



鱒魚

第千五十九圖

テ大ニ之ヲ賞食セリ

小馬鞭魚 ヤウビウラ 此魚ハ酷鱒魚ニ肖テ其形甚小ナリ  
リツナルハイブス

身長十寸許ニ過ギス

ヒユース即魚膠魚 アイシラリスミ 此魚ハ鱒魚ノ一種ニシテ  
スモルシオン

重量五十斤乃至百斤ナリ此魚ハ魚膠ヲ製出ス

ル爲ニ歐羅巴ノ大河ニ於テ漁獵スルヲ頗多量

ナリ而シテ之ヲ煮ルトキハ粘液様ノ物ヲ滲出

ス此粘液ヲ収メ乾シテ魚膠ヲ製スルナリ

鱒魚屬 此屬ハ歐羅巴及亞米利加ノ海中ニ於

テ其種數多アリ身長二尺乃至六尺許其主眼ナ

ル者ヲ アカエヒ 黃貂魚 ガニギエヒ 鮪魚 トールベ 刺脊魚 トールベ 即粗鱒魚 トールベ 木勺鮪等ト

ス而シテ許多ノ電氣ヲ有レ之ニ觸ルセノア

レハ直ニ激衝ヲ傳與ス木勺鮪ヲ除ノ外此種ノ

魚類皆重傷ヲナスベキ針刺ヲ

具セリ又此種類中ニテ善良ノ

食料トナルガ爲ニ大ニ漁獵セ

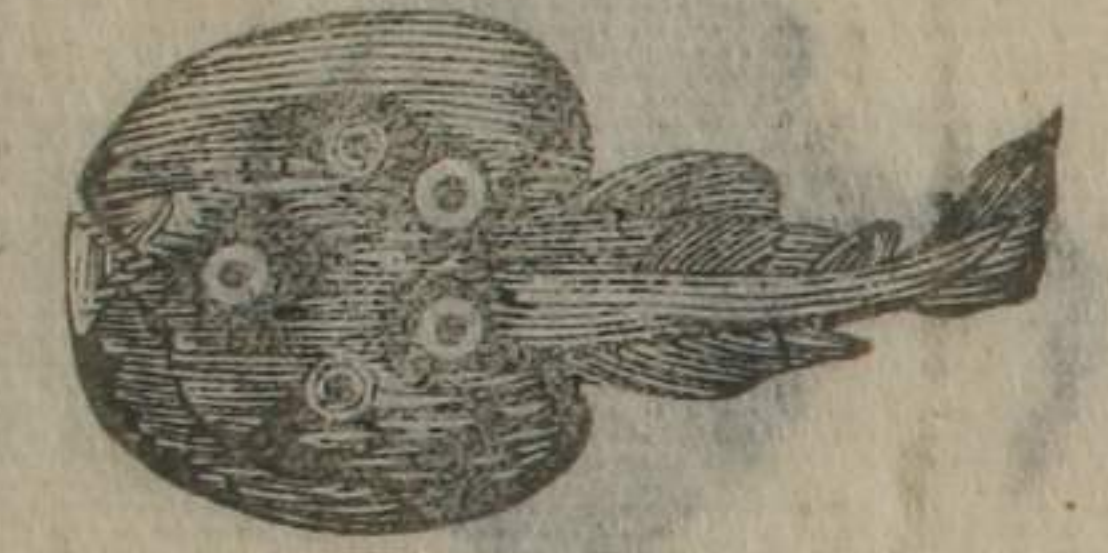
ラルモノアリ

鮪魚 ガニギエヒ 此魚ハ帶褐灰色ソノ體

區平ニシテ薄ク實ニ見ルヲ厭

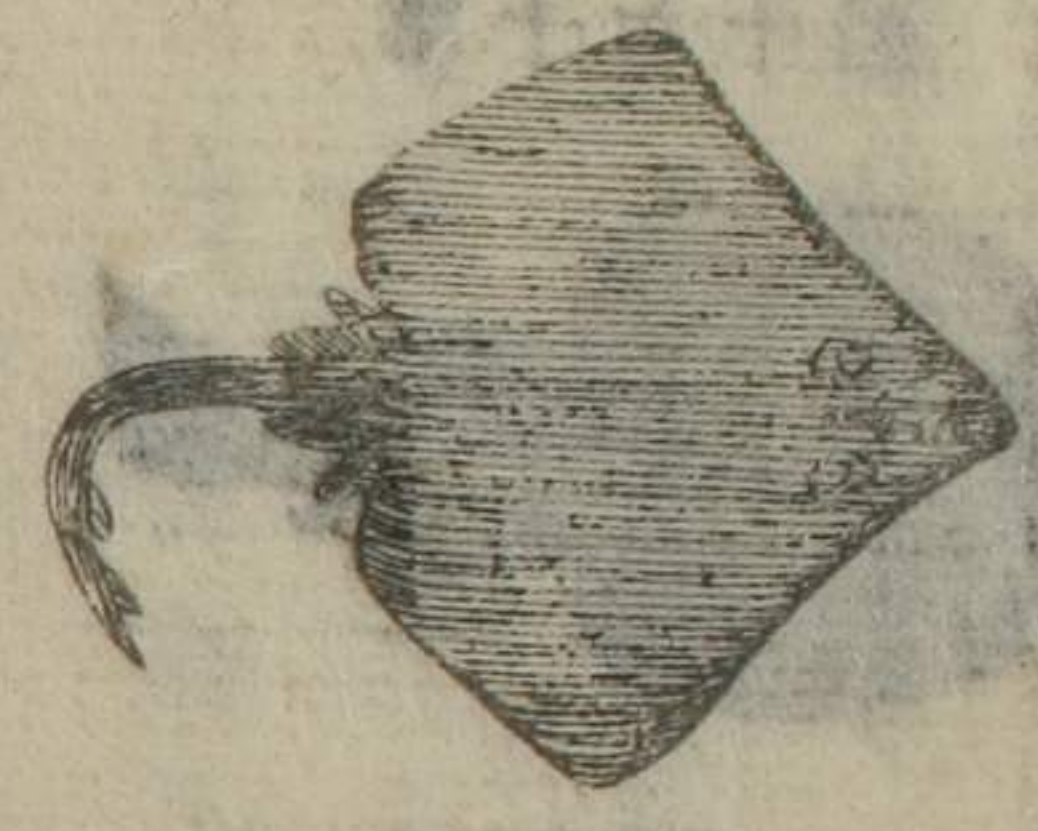
フベキ者トシ歐羅巴及亞米利

第十千六圖



木勺鮪 トールベ

第一千六十一圖



魷魚  
スカート

八目鰻ハ黄色ニシテ身長二尺  
乃至三尺許體軀細長ニシテ撓

加ノ海岸ニ産シ重量二百斤ニ  
至ル者往々之アリ英蘭ニテハ  
之ヲ善良ノ食  
料ト考定スレ  
ドモ是其全ク  
習慣ヨリ生ス  
ル所ナリ

ハツノウナギ  
八目鰻名和  
海

第一千六十二圖



八目鰻  
ラニプリ

ミ易キヲハ恰モ鰻ノ如ク常ニ海灣ノ泥中ニ棲  
息セリ而シテ河八目鰻ハ前者ヨリモ至小ナリ  
右兩種共割烹ノ用ニ供シテ價アレ者ナリ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

動物界

第二大部

無脊動物

第一綱

柔軟動物

吾人今脊骨ト筋肉ヲ支撐スベキ關節アル骸骨  
トヲ具セル諸動物ヲ包有レタル動物界ノ第一  
大部ヲ一覽シ了リテ又無脊動物ノ第一綱即柔  
軟動物ノ門ニ入ル可シ  
柔軟動物ハ有脊動物ニ比スルニ關節アル骸骨  
ナク其他尚缺乏スル所多シ特ニ生活スハキ機  
關ノ造構相異ナリ有脊動物ハ其神經系腦ト貫

通スル脊髓ニ結合ス蓋此腦ハ知覺及生活ノ主  
 機タリ然ルニ柔軟動物ハ全ク相異ナリ其神經  
 系ハ髓ノ如キ塊ヲ以テ組成シ髓中ノ各部ニ散  
 在セリ又其腦ハ頭部ニアラズレテ食道ニアリ  
 神經ハ襟様ノ形狀ヲナシテ之ヲ繞圍セリ  
 柔軟動物ノ呼吸運動血液循環等ヲ爲ス處ノ機  
 關ハ有脊動物ノ機關ト異ナルノミナラス某種  
 ノ機ハ其固有ノ造法アリ而シテ他種モ亦其固  
 有ノ造法アリテ一定ナラズ然ルニ外部ノ機關  
 ハ多ク一様ニシテ移動ノカハ通常其中心點ノ

兩側ニアリ  
 柔軟動物ノ血ハ白色又ハ淺藍色ナリ其筋ハ骨  
 ト結着セスレテ皮ノ各部ニ附着セリ又鼻官ヲ  
 有スルトハ明ナレドモ未ダ其機關ヲ發見セス  
 聽官ノ機關ハ某屬ノ外更ニ之ヲ發見スルトナ  
 レ又光澤アル皮ノミヲ着スル某種ヲ裸體類ト  
 名ケ殼中ニ閉入スル他種ヲ螺蚌類ト稱スルナ  
 リ  
 總ヘテ柔軟動物ハ其食物ヲ嚼ミ或ハ之ヲ吞ム  
 トノ方法ヲ看得ス可シクダリル氏固有ノ性質

ニ從ヒ柔軟動物ヲ分チ六目トス即左ノ如シ

第一目 首足類 セハロポード

第二目 鰭足類 プテロポード

第三目 腹足類 ガステロポード

第四目 無頭類 アムハラ

第五目 臂足類 ブラチオポード

第六目 無眼類 ヘルロポード

第一目 首足類

此目ハ墨魚、航魚等ヲ包有ス此等ハ皆其性貪食

殘忍ニレテ餌食ヲ求人得ンガ爲ニ輕捷ナル數

多ノ法方ヲ有スル者ニシテ魚類及蟹類ヲ殺害

スルヲ無數ナリ又某種ハ墨汁ニ代用スベキ墨

色ノ液ヲ出シ其皮色ヲ變スルヲハ蝦蛄ヨリ甚

迅速ナリ又知覺ノ主機ヲ具備セル頭ハ體ノ各

部ト區別セリ

墨魚 イカ 此奇ナル動物ハ通常身長二尺許ニシテ

八個ノ肢ト二個ノ鬚肢トヲ具シ此肢ヲ以テ逢

フ處ノ諸物ヲ緊握ス一回其緊握ニ遇ノ時ハ容

易ニ之ヲ放ツテ能ハス其體ハ帶赤褐色眼ハ牛

仔ノ如ク大ニシテ銀色ノ環アリ口嘴ハ角様ノ



第一千六十三圖



墨魚  
イカ  
ツトルヒス

色ノ液ヲ噴出レ水ヲ墨汁ノ如ク暗黒ニナレテ  
 其仇敵ヲ遁ルト云フ昔時ノ羅馬人ハ此墨液ヲ  
 墨汁ニ代用セリ又支那人ハ現今モ尚之ヲ墨汁

モノニシテ鸚鵡嘴ノ如ク  
 彎曲シタリ此曲嘴ハ甚堅  
 牢ニシテ其餌食スベキ動  
 物ノ介殻ヲ數片ニ破碎レ  
 得ベシ

墨魚ハ他ノ動物ニ追ハレ

テ困窘スルトキハ彼ノ墨

一代用ス此魚ノ骨ハ細末ニ製シテ止淋散ボシ名  
 ケテ文具ノ欠ク可カラザル要品タリ此止淋散  
 ハ器具ヲ磨キ或ハ鳥ノ嘴ヲ磨クト等ニ用井ル  
 者ナリ此魚ヲ暗室内ニ置テ之ヲ截ルトキハ滿  
 室ヲ照耀スベシ又此魚ヲ水面ヨリ揚ル時ハ牡  
 猪ブノ呻吟ニ似タル聲音ヲ發スト云フ  
 印度ノ墨魚ハ非常ニ生長レテ體ノ徑一丈二尺  
 肢ノ長サ四丈乃至五丈ノモノアリ土人ハ其小  
 舟ヲ墨魚ノ爲ニ水中ニ引入ラレントヲ恐レ常  
 ニ此魚ヲ截切スベキ手斧ヲ準備セリ墨魚ノ種

博物志 卷八 八

ハ八個アレ氏皆卵生ニシテ海濱ノ雜草中ニ其卵ヲ産ムト云フ

カコフ子  
ノウキリユス

此奇ナル小介ハ其種二個アリ一ハ紙ノ

如ク薄キ白色ノ殼ヲ具シ一ハ稍厚キ殼ヲ有シ

第千六十四圖



航魚ノ殼

テ往々眞珠色ノモノアリ右雨

種共其形狀ハスライル蝸牛ノ殼ニ似テ

直徑六寸許薄キ白色ノ殼ヲ具

シタルハ古昔人ノ航魚カコフ子ト稱ス

ル者ニシテ航海術ハ恐クカコフ子此

小殼ノ舉動ヲ見テ以テ發明シ

タルモノナラシ此小殼ハ八個ノ肢ヲ有シ風ノ吹ク時ハ其膜ヲ具シタル二肢ヲ揚ケ膜ヲ帆ノ如ク開張レ殼ノ縁邊ニ垂レタル他ノ六肢ヲ撓ノ如クニ使用スルナリ地中海ニテハ此小介恰モ順風ニ走ル帆船ノ如キ形狀ヲナレテ行ク一往々之アリ又稍厚キ殼ヲ具シタルアタムカヒ鸚鵡螺ハ印度海ニ産スル者ナリ

第二目 鰭足類

アテロポド

此目ノ動物ハ體ノ兩側ニ鰭ノ如ク附着シタル物ヲ具シ水中ニ於テ之ヲ撓ノ如ク使用スル者

ナリ

此目ニ屬スル動物ハ首足類ノ如ク洋中ヲ游泳  
 スレドモ足ナクシテ體ノ他ノ物體ニ固着シ又  
 ハ跛行スル一能ハズレテ口ノ兩側ニアル翼狀  
 ノ鰭ヲ以テ運動ス此動物ノ種ハ只一二個アル  
 ノミニレテ皆小ナリクワボリス鯨兔ノ身長漸ク一寸許ニ  
 シテ北海ニ無數産スレバ過半ハ鯨ノ餌食トナ  
 レ又此動物ハ膜ヲ有スル柔軟ノ者ニシテ肉唇  
 ト口ノ前ニアル小舌トヲ具スルモノナリ

第三目

腹足類

腹動類ハ其數夥多シテ就中世人ノ熟知ヤル  
 種ハ蝸牛ナリ蝸牛ハ大槩下腹ニアル長キ肉様  
 ノ物ヨリ成タル一個ノ足ヲ以テ跛行ス某種ハ  
 殻ヲ具シ他種ハ殻ヲ具セズ或ハ水中ニ棲ミ或  
 ハ陸地ニ住スル者アレドモ博物家ノ外ハ只其  
 一二種ヲ知ルノミ

蝸牛カタマシ 殻中ニ閉蟄シ四個ノ角ヲ具スル蟲即カタマシ  
 蝸牛カタマシ 一種ニシテ雙眼ハ最長キ二角ノ尖ニ存シ  
 口ハ最短ナル二角ノ下ニ在リテ八個ノ齒ヲ具  
 シ之ヲ以テ植物及其葉ヲ食セ大ニ園中ヲ害ス

博物學 卷八

五

文部省

第十六十五圖



蝸牛  
スタイル

冬間ハ土中ノ小孔ニ潜伏シテ動かズ佛蘭西ニテハ之ヲ割烹ニ供レテ甚美味トセリ故ニ之ヲ畜養スル人多レト云フ

蝸牛ノ殻ハ其體中ヨリ出ル粘質物ヲ以テ造成シタルモノニシテ此粘質物漸ク骨ノ如ク堅硬ナルニ至リ遂ニ殻ト成ルナリ此最奇ナル動物ハ印度海ニ産

第十六十六圖



ビユルサテラ

蠍屬

此屬ハ單殻ノ介蟲ニレテ其種極メテ多ク海濱ノ巖上ニ無數群集セリ希比利的島ニテハ大ニ之ヲ食料ニ供スト云フ  
即君子屬 此屬ハ尖端ニ至ル迄螺旋狀ヲナシ

新牙... 卷八

...

タル殻ヲ有レ甚圓キ口ヲ具スル處ノ諸介類ヲ包有セリ其種ハ林中ノ苔又ハ石ノ下ニ栖ニ他種ハ潦水ノ中ニ住ス尋常御君子ハ身長一寸許ニレテ紫褐、白、黄、四色ノ帶アリ此介ハ各所ノ海岸ニ産スルヲ夥多ニレテ英國ノ市場ニテ之ヲ販賣ススコットランド蘇格蘭ノ貧人ハ主トシテ之ヲ食スルナリ

第四目

無頭類

此目ノ動物ハ頭ナクシテ惟、口ヲ有スルノミ其口ハ外套ニ似タハ物ノ下ニ隱ル此外套様ノ物

ハ恰モ表包ウツミヲ以テ包タル書籍ノ如ク其體ヲ被覆ス其上ニハ大概ニ枚ノ殻アリテ之ヲ保護セリ此目ノ動物ハ皆水中ニ棲ム者ニレテ之ヲ分テ二部トナレ殻ヲ具スル者ヲ有殻類ト名ケ殻ヲ有セザル者ヲ無殻類ト名ケ又此二部ヲ分ケテ五屬トナス即牡蠣科、淡菜科、車渠科、魁蛤科、泥筒科等ナリ此目ハ世俗ノ介類ト稱スル諸動物ヲ包有レテ其種數多ナレドモ茲ニハ只其一ニ種ヲ記載スルノミ蓋此種中ニハ嘗テ前世界ニ栖處セシ者多クシテ大低地中ヨリ掘リ出セ

...

レ所タリ  
 牡蠣カキ屬 此屬ハ二枚ノ殻ヲ有スル介類ニシテ  
 其種甚多ク皆生活及呼吸ノ機關備ハリ腸、肝臟、  
 肺臟、心臟等ヲ具有セリ此屬ハ三個年ノ間ニ生  
 長レ得ル者ニシテ其種大小數多アリ殆ド世界  
 ハ各所ニ産シ大概潮汐ノ爲ニ推退セラルルハ  
 外自動ク下ナク通常巖石ニ固着セル者ナリ尋  
 常牡蠣ハ割烹ニ供レテ大ニ貴重セリテ  
 英吉利牡蠣ハ頗銅ノ臭味ヲ有スルモノニシテ  
 亞米利加産ニ比スルハ其味大ニ異ナリ最善良

介牡蠣ハ紐約克ニテ採リ「ガトプ、コッ」海瀕ニ  
 一個年畜養シタル者ナリ蚌珠ハ世界ノ各所ニ  
 産スレ氏就中價アルモノヲ漁スル所ハ錫蘭島  
 ナリ此島ニテ蚌珠ヲ漁スル者ハ數分時間水  
 底ニ留在スト云フ  
 錦介ニシキカヒ和名 此動物ハ二枚ノ殻ヲ具スル者ニシテ  
 其殻ニハ恰モ發光體ヨリ放ツ光線ノ如キ線條  
 アリテ其屈戌ノ兩側ニハ稜角形ノモノヲ具セ  
 リ其沙濱ヲ運動スルニ方リテ足ヲ短縮シテ進  
 ミ海中ヲ行進スル時ハ思フニ二枚ノ殻ヲ開閉

レ得ルモノナラン此動物ハ各所ノ海濱ニ居リ  
割烹ニ供シテ頗美味ナリ

文蛤屬 ハマグリ 此屬ハ數多ノ種ヲ包有シテ其種ハ皆  
多少長伸レ跛行ヲ爲マニ適應ス可キ管ヲ有セ

リ長蛤 コトホグ 等ハ此屬ニ列セリ

淡菜屬 イカヒ 此屬中ニハ其種數多アリテ皆等シキ  
三角形ノ殼ニ個ヲ有シ其屈成ハ銳角ノ所ニ在

リテ此中ニ頭アリ尋常淡菜ハ佛蘭西海岸ノ巖

石又ハ杙杭ニ夥ク附着セル者ニシテ大ニ之ヲ

食料ニ供スレドモ過度ニ食スレハ甚害アリ

食料ニ供スレドモ過度ニ食スレハ甚害アリ

第一千六十七圖



「チャマ」ノ殼

「チャマ」即車渠 シヤコ 此動物ハ巨大ナリ

二個ノ同レ殼ヲ有シテ直徑ニ尺

重量三百斤ニ至ル者往々之アリ

其肉ハ硬クレハ食用トスベクシ

テ一個ノ車渠ヲ以テ數人ノ食料

ニ充ツ可シ且此動物ハ印度海及

大平洋ノ各所ニ棲ミテ甚奇異ノ者タリ其故ハ

常ニ殼中ニ居住セズシテ殼ヨリモ更ニ前ノ方

ニ進出スルモノナリ

魁蛤屬 アカガヒ 此動物ハ凸圓ナルニ故ノ同レ殼ヲ有

ニ進出スルモノナリ

スル者ニシテ殆ト各所ノ海中ニ居リ其種數多  
 アリテ某種ハ地中ヨリ掘リ出シタルモノトス  
 尋常魁蛤ハ各地ノ砂濱ニ居リ身長一寸有餘ニ  
 シテ筋多キ大足ヲ具シ之ヲ以テ跋行スト云  
 トレド此動物ハ二枚ノ殻ヲ有シ其殻中ヨリ  
 長管ヲ突出シ其尖分レテ二枚トナリ此長管ハ  
 根抵ニハ兩側ニ堅牢ノ物ヲ備具シ之ヲ以テ水  
 底ノ木材ヲ穿テ其中ニ進入スルモノナリ而  
 シテ其兒子ハ材杭及船底等ニ體ヲ入レ上下左  
 右ニ孔穴ヲ穿テテニ損害ヲナス此兒子ノ孔

穴ニ在ルハ其管ヲ穴口ニ置キ之ヲ以テ水及食  
 物ヲ飲食スト云フ  
 ヒロソマ此動物ハ無頭裸體類ノ一屬ニシテ  
 其體皆透明膠質アリ海中ニ大數集合シテ水平  
 ニ布置スベキ凹形ノ大塊ヲ造ル者ナリ此大塊  
 ヲ造構セルヤ無數ノヒロソマ相共ニ其體ヲ膨  
 張收縮シテ以テ少ク運動ヲナスカ如シ此物夜  
 間ニ至レハ燐ノ如ク光輝ヲ放ツモノナリ  
 第五目 臂足類  
 此目ハ具殼曖昧ナル一二介屬ヲ包有ス

海豆



芽ハ印度海ニ居リ鴨類ノ嘴形ニ肖タル綠色ノ  
殻ヲ有スルモノニシテ身長二寸乃至四寸許ナ  
リホ、ツギカヒ酸漿介和名ハ其變種數多ナルドモ多クハ地中  
ヨリ掘リ出シタルモノナリ

第六目

無眼類

此目ハ頭及目ナク體短クシテ動ク能ハス常ニ  
殻中ニ閉入シテ他ノ物體ニ固着シ又ハ少ク運  
動スル爲メ一方ヲ高メテ全ク他體ニ附着セザ  
ル處ノ柔軟動物ヲ包有ス通常此目ニ屬セル處  
ノ殻ハ數枚ヨリ成ル者ナリ

烏帽エホカ子介シカシ  
花莖ハナクキ様ノモノヲ具シ之ヲ以テ船底ニ附着シ

此動物ノ體ハ常ニ殻中ニ閉入シ

身長九寸許ノモノ往々之アリ此動物ハ好シテ  
舵ノ邊ニ居リテ波浪ニ蕩搖ヒラルト云フ其種  
二四個アリテ其種ハ海中動物ノ體ニ附着ス  
鯨クジラ牡蠣カキ名和名ハ鯨魚ノ體ニ附着シ他ノ種ハ龜類ノ  
甲ニ固着ス

榊原芳野 校

具氏博物學卷之八終

